

ひろば 大代

No.559

令和8年2月号

大田市の人口	
(R8.2.1 現在)	
大田市	31,295人
内大代町	269人
男	129人
女	140人



作文コンクール
小学生の部
難波利三賞受賞

日向心みゆ優さん

「ふるさとそして未来」作文コンク
ール2025年で、本郷自治会日向心
優さん（高山小）が最優秀賞難波利三
賞を受賞されました。おめでとうござ
います。

ふるさとを元気づけたい

私が住んでいる大代という町には、
伝統芸能が二つあります。それは、小

笠原流田植え囃子と石見神楽です。

大代町は古い町並みが特ちょう的な、
人口二百八十人に満たない小さな町で
す。静かな町ですが、地域でのイベン
トがあると、たくさんの方が集まり、
とてもにぎやかになります。また、人
気のおそば屋さんがあり、そこからは、
標高八百メートルの大江高山が見ら
れます。地域の人も温かくて、とても
すてきな町です。

伝統芸能である石見神楽は、私にと
って、こわく感じていたものでした。
しかし、今年の四月にあった例大祭で
の出来事です。少し神楽を見てみよう
と思い、神社に行きました。すると、
かっこいい舞や奏楽のリズムに心がひ
かれ、それが神楽を好きになるきっか
けになりました。そして、ある日母に、
「私も神楽をしたい。」と伝えました。
そして、大江高山神楽社中に兄弟とい
つしよに入団しました。家族からは、
「まさか神楽を好きになるとは思わな
かった。」とおどろかれました。
例大祭を見てから、私には目標がで
きました。それは、恵比須を舞うこと

です。おもしろく舞っていたり、みん
なを笑顔にしていたりしたのが印象的
だったからです。

しかし、このすてきな大代町には、
ずっととなくならない問題があります。
それは、人口が減少し続けていること
です。昔は町が栄えており、十七夜に
は出店がたくさん出たり、田植え囃子
を見たりしたと聞きました。大家には、
病院、スーパー、信用金庫、散髪屋な
どたくさんのお店が並んでいたと聞きま
した。ですが、今では空き家が多く、
少しさみしく感じます。また、子ども
が減り、高齢者が増える少子高齢化が
進んでいます。この問題を解決するの
は難しいですが、高齢者が多いからこ
そ、元気な町であってほしいです。だ
から私は、「自分のふるさとを元気づ
けたい。」という思いで恵比須を舞い、
ふるさとの人たちを笑顔で元気にした
いと思いました。
今では、神楽のことしか考えられな
いくらい神楽が大好きです。神楽を通
して、自分のふるさとに対しての考え
方が変わってきました。今後のふるさ



とのあり方や自分に何ができるかを考えていきたいと思っています。これからも伝統芸能を守り続けて、ふるさとを大切にしていきたいです。

ふるさとをはなれて暮らしている人も、ゆつくりとふるさとのすてきな風景を見てみませんか？そして、そのことをたくさんの人に伝えてみませんか？ふるさとが笑顔であふれるために、地域の人のつながりを大切に、伝統芸能や町並みなどのふるさとにしかないものを地域のみんなで守り続け、笑顔が絶えない町にしていきたいです。

大代町内の石垣と石工⑥

大田市教育委員会石見銀山課

新川 隆

大代町の石垣について、これまで寺社の石垣を中心に紹介してきましたが、今回は大代町新屋飯谷にある浄願寺の石垣を見てみたいと思います。

浄願寺は現在無住となっておりますが、浄土真宗本願寺派で慶長五（一六〇〇）年創建と伝わります。

石垣は石段に向かって右手に構築されています。石積みを見ると、割石を乱積みしたもので、一見すると雑に積んだように見えます。ただ、よく見ると長方形の石材を斜めに積んでいる部分があるのが分かります。これは落とし積みとか谷積みと呼ばれるもので、概ね一八世紀後半以降に見られる積み方です。大田地域では、江戸時代の終わり頃から近代にかけて多用され、現代に近くなるにつれ、石材が画一化され、短軸と長軸が一对二の長方形に成形された石を交互に斜めに積むようになります。この積み方が力学的には最

も強く、安定した石垣と言われており、最近の石垣はほとんどがこの積み方で積みまれています。

こうしたことから、この浄願寺の石垣は幕末頃から近代はじめ頃の石垣と推定されます。

また、石垣の隅の部分は不完全ながら算木積みと言われる積み方で積みま



浄願寺の石垣（左端が隅角部）



熊本地震直後の「奇跡の一本石垣」

ています。石垣ではこの隅の部分も重要で、崩れやすいため、崩れにくくするための工夫として、算木積みが考えられました。

算木積みは、長方形の石材を長辺と短辺とを交互に積んだもので、こうすることで隅角部を崩れにくくしたものです。平成二八年に熊本地方を中心が発生した熊本地震では熊本城も大きな

被害をうけましたが、その中で「奇跡の一本石垣」と呼ばれた石垣があった事を記憶されている方もおられるかも知れませんが、この石垣部分こそ、算木積みによる石垣隅角部なのです。この「奇跡の一本石垣」のおかげで、上に乗る櫓が崩落せずに残されました。このことから、石垣の隅部がいかに重要かがお分かり頂けると思います。

また、浄願寺では面白いものが見つかりました。入口部分には石段がありましたが、その欄干に石段が造られた年代の他に寄付者の氏名が4か所の欄干すべてに刻まれていました。建立の年は昭和十年十一月とあるので寄付者を



欄干に刻まれた寄付者名

ご存じの方もいらっしゃるかも知れません。この寄付者名は現地に行けばい

つでも見る事ができるので、興味のある方は行ってみられると良いでしょう。また、境内には井戸頌徳碑も建てられているので、一緒にご覧になってはいかがでしょうか。

一年半にわたり、大代に残る石垣について紹介をさせて頂きましたが、新屋の了真寺や大家の明恩寺など紹介できなかった寺もあります。また、民家の石垣については、来歴の調査が難しいため調査対象から除外したのもあります。探せば、他にも面白い石垣があるかも知れません。意識してなければ見逃してしまうような石垣ばかりですが、これを機に少しでも興味を持たれたならば、散歩の途中でも、石垣に少し意識を向けられると、面白いものが見つかったり、重要な石垣が発見できたりするかも知れません。

最後になりましたが、つたない文章に一年半も付き合っさせて頂きありがとうございました。

今年も、皆さんで楽しく笑った一年の始まりの
新年わくわく会の様子です



残念なお知らせです



大代町のシンボルとも言えるまちづくりセンター（旧大代中学校グラウンド）に植えてある黒松が昨秋の頃から松葉が黄色くなりはじめ、専門家に聞けば松くい虫の被害と言われました。
この松は明治40年5月30日当時皇太子の東宮殿下嘉仁親王（のちの大正

天皇）が山陰行啓時に御手植されたと記されています。当時随行された東郷平八郎大将、奥田文部大臣、大島大将、福島大将等の植えられた松はすでに枯れて伐採されており唯一残っていた松も被害にあってしまいました。特に大代中学校に在学されていた皆様は記憶に残っていると思います。このままにしておけば自然と倒れ危険となるため早いうちに処置することになります。今一度見てみたい方は、現地に出向いて見て下さい。お待ちしています。今年中の伐採を予定しています。



今現在の様子



大正天皇（皇太子）御手植の松
明治40.5.30

＊あすなろ句会＊

川上 岩田律枝

草影に光る小川の雪解水

庭隅に残雪ありて一人住む

雪間にて見ゆる狭庭さじわに草青む
屋根からの雪解け水の音立てて
上市 横田美恵子

3月行事予定

- ▼ 7日（土） 中学校卒業式
 - ▼ 15日（日） 福祉弁当
 - ▼ 16日（月） お楽しみ会
 - ▼ 18日（水） 高山小卒業式
 - ▼ 22日（日） 大代高山会定例会
 - ▼ 23日（月） 言事部
 - ▼ 28日（土） 水上保育園卒園・閉園式
- ≪えびすの会≫
5日・12日・19日（木）
13時30分～15時30分
【1月～3月は午後開催になります】

